

## 令和7年度 活動支援事業の実施団体と取組内容

### 1 特定非営利活動法人恩おくり

団体の概要	
活動開始年月	令和4年12月
登録会員数	33人（役員7人）
通常の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の居場所開放（週1～2回）</li> <li>・子ども食堂・地域食堂（月3～4回）</li> <li>・多世代向けイベントの開催（月1回）</li> <li>・フードバンク関連活動（フードドライブ、フードパントリー含む）</li> <li>・フードサポートネットワークえべつの運営</li> <li>・家庭菜園0円マーケット（菜園援助と野菜無料配布）</li> </ul>
助成を受けた実績（直近）	令和6年度協働のまちづくり活動支援事業 147,000円
事業の概要	
事業名	江別市内に子ども食堂を広めよう！広報&開拓大作戦
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども食堂に参加したい子どもたちのため</li> <li>・子ども食堂を手伝いたい、または運営したい地域住民（主に高齢者）のため</li> </ul>
地域の課題として考えていること	子ども食堂は子どもの居場所の1つとして期待されるが、居場所として機能するには1小学校区に1つ以上の小さな子ども食堂があり、子どもが歩いて行ける距離に複数の子ども食堂があることが望ましい。しかし実態は異なるため、子ども食堂を増やす、継続するための運営者を増やす第一歩として本事業を実施する。
実施内容	<p>①チラシ制作と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期開催している子ども食堂情報をエリア別に掲載</li> <li>・市内フードドライブ実施場所の情報掲載</li> <li>・新規立ち上げ相談承る旨掲載</li> </ul> <p>②子ども食堂（居場所づくり）学習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち上げ相談及び学習会開催（立ち上げエリアで）</li> <li>・必要に応じて、周知広報の協力（SNSで情報発信）</li> <li>・必要に応じて、初回～2回目まで運営補助として参加</li> </ul>
実施効果	子ども食堂への理解が広まり、関心を持たれ協力者が増える。子ども食堂が増えることで子どものみならず高齢者の居場所（活動場所）が増える。多世代がかかわる場になり、住民同士の交流機会が増える。

## 2 こども支援ワーカーズみんなのいえ

団体の概要	
活動開始年月	2019年3月
登録会員数	14人（役員7人）
通常の活動内容	①不登校児童居場所支援「おおあさBASE」週1 ②中・高生の居場所「みんなの自習室」週1 ③こどもの字由奈居場所づくり「プレーパーク」年3・4回 ④子どもにやさしいまちづくり活動（月2回）＋イベント企画 ⑤放課後児童クラブ「みんなのいえ」
助成を受けた実績（直近）	令和6年度協働のまちづくり活動支援事業 150,000円
事業の概要	
事業名	おおあさBASEを活用した地域交流企画
対象	不登校児童とその保護者、地域の方々
地域の課題として考えていること	江別にはフリースクールがなく、市教委設置のねくすとが一か所あるのみ。身近な地域に気軽に行ける場所が必要と思い、昨年「おおあさBASE」を開設。初年の活動を通して継続的な支援に加え、さらなる企画が必要と実感した。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなのいえを開催場所とすることで、参加者に場の雰囲気を感じてもらいながら、様々な交流企画（アート・花・製菓・調理・味噌作り）を体験して貰う。</li> <li>・講師は、商店街等の方やスタッフとし、体験後交流の時間も作る。</li> </ul>
実施効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外に出る一歩を踏み出すきっかけづくりとして月1回の企画を実施。その企画をきっかけにおおあさBASEに来やすさが生まれ、地域との継続的な交流も生まれる。</li> <li>・地域とのつながりやスタッフと馴染みを持ってもらうこともできるほか、世代を越えた交流ができる。</li> </ul>

### 3 オレンジカフェ大きな木

団体の概要	
活動開始年月	令和6年4月15日
登録会員数	役員2人
通常の活動内容	毎月第3月曜日に、市民交流センターぷらっとにてオレンジカフェ大きな木を開催。 誰でも申し込みなしで気軽に来て話をしたり、ゲームなどをやり楽しい時間を過ごしてもらおう。
助成を受けた実績 (直近)	なし
事業の概要	
事業名	大きく育てオレンジカフェ～周知の拡大と居場所の充実～
対象	主に認知症の方とその家族、認知症に関わっている方、その他誰かと交流したいと思っている方。
地域の課題として 考えていること	認知症の方や一人で出かけるのは不安だが誰かと話したいと感じている人、介護で悩んでいる人が気軽に相談できる場所がないことが地域の課題だと思う。そのような方々が気軽に立ち寄り交流出来たり、相談できる場所があることをより知ってもらえるように周知の拡大とより楽しんでもらえるような居場所の充実を図る。
実施内容	・周知 チラシを作成し野幌駅周辺の郵便局に置いてもらう。まんまる新聞に広告を掲載する。 ・居場所の充実 交流できる遊び道具の充実。ゲストを招く。
実施効果	より周知を拡大することにより、オレンジカフェの存在を知ってもらえ、安心して出掛けられる場所があることを知ってもらうことができ、引きこもりや密室介護の防止につながる。また、介護の悩みや認知症の進行について話すことで参加者の不安解消になる。